

経営比較分析表（平成28年度決算）

高知県 あき総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	透訓	救臨へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
732,535	20,771	非該当	7：1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	5
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
90	-	270
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
175	-	175

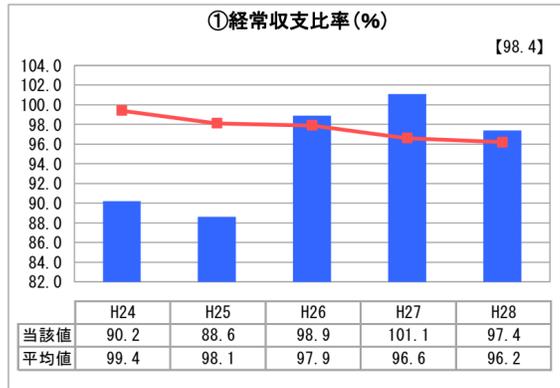
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

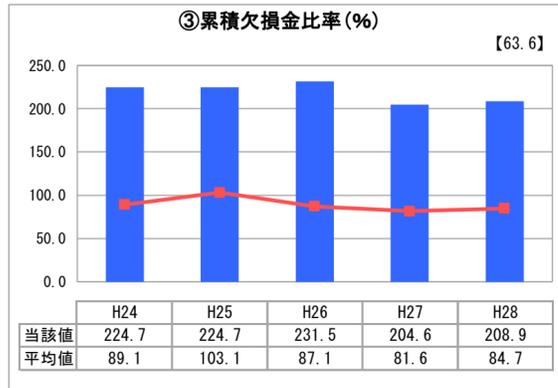
1. 経営の健全性・効率性



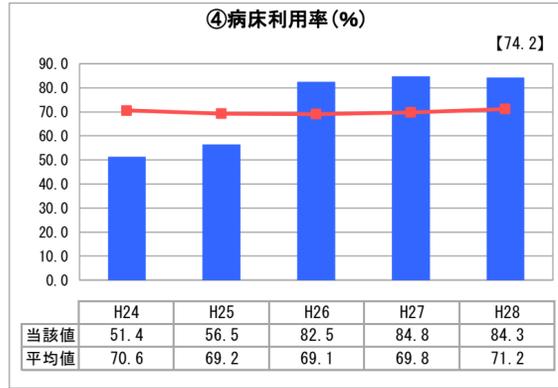
「経常損益」



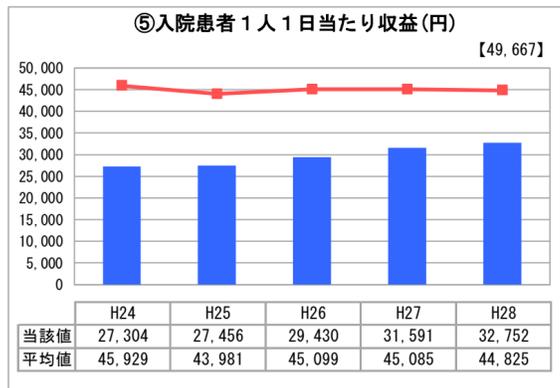
「医業損益」



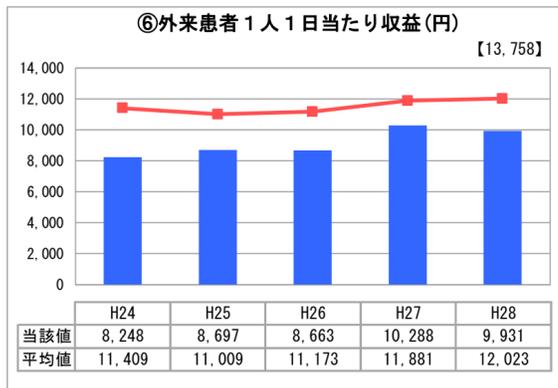
「累積欠損」



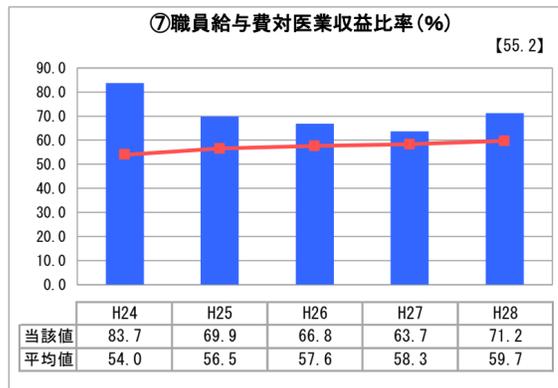
「施設の効率性」



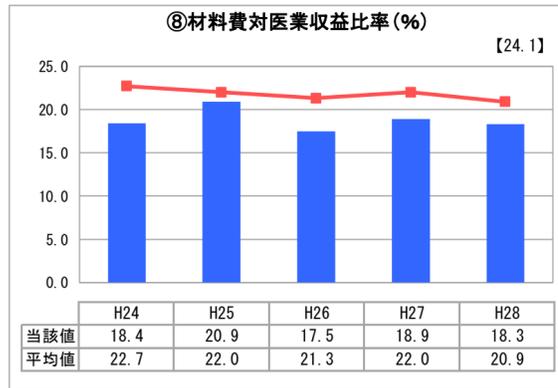
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

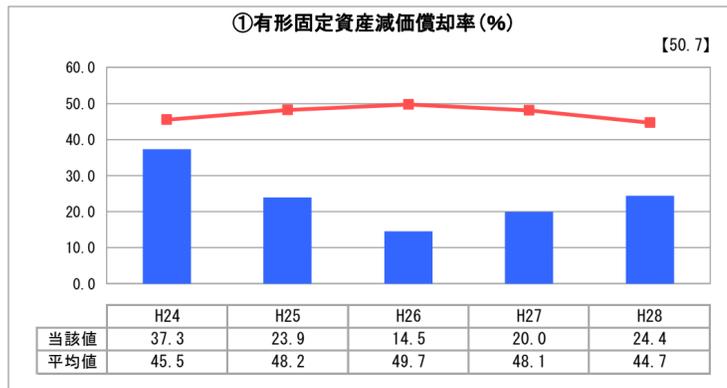


「費用の効率性①」

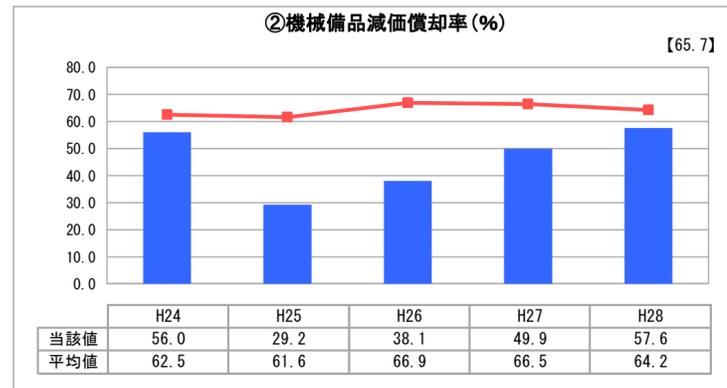


「費用の効率性②」

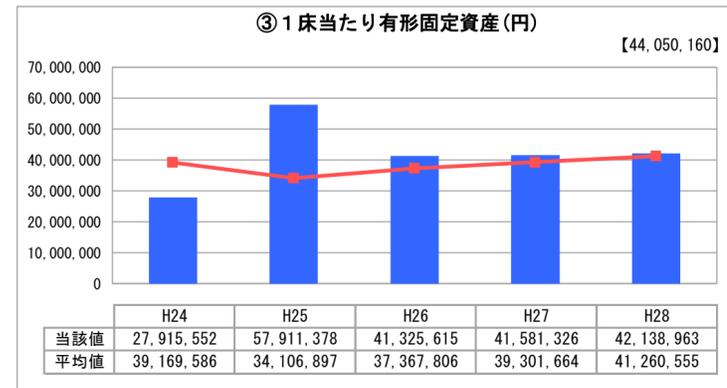
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- ・二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門に関わる医療を提供している。
- ・地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。
- ・県東部地域において、公立では唯一精神病床を持っており、措置入院の受け入れをはじめ、精神疾患の拠点としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当病院は精神病床を有していることから、医業収支比率や診療単価は類似病院の平均値より低くなっている。また、平成28年度に職員数を増加したことに伴い、経常収支比率、医業収支比率、職員給与費対医業収益比率は前年度に比べ悪化している。しかしながら、経常収支比率や病床利用率は平均を上回った状態で推移しており経営状況は安定している。新病院開院前に大きく膨らんだ累積欠損金を減らすため、今後も経営改善に努めていく。

2. 老朽化の状況について

- ・平成26年度に改築されたばかりであり、有形固定資産償却率・機械備品減価償却率ともに全国平均より低位である。
- ・1床あたり有形固定資産額も全国平均並みであり、今後とも施設設備の適正な管理に努める。

全体総括

- ・新病院開院後、患者数や病床利用率が増加している。また、収益面においても、精神病床を抱えていることから診療単価は類似病院平均に比して低いものの、順調に増加しており、経常収支比率が平均を上回るなど良好な推移を見せている。
- ・一方で、精神病床を保有していることから、職員給与費対医業収益比率は高い傾向にある。引き続き良質な医療を安定的に提供していただけるよう経営改善の努力を継続する。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成28年度決算）

高知県 幡多けんみん病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	透I未訓ガ	救臨が感へ災輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
732,535	26,023	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

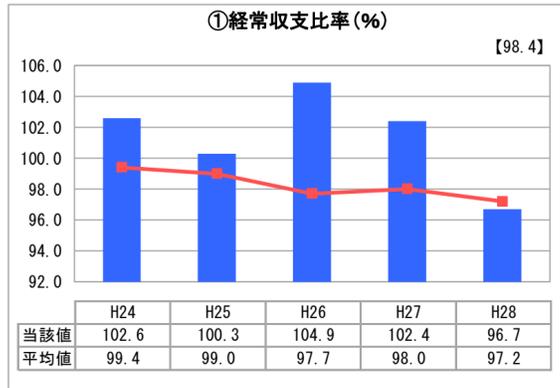
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
324	-	28
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	3	355
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
311	-	311

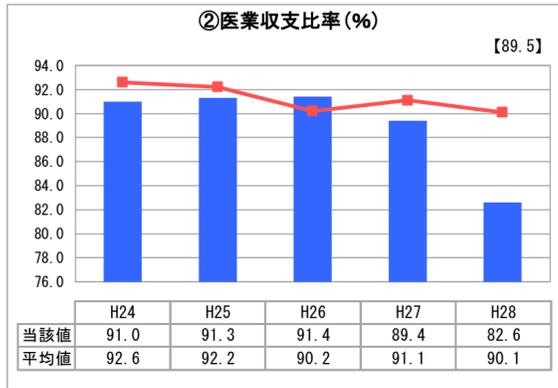
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

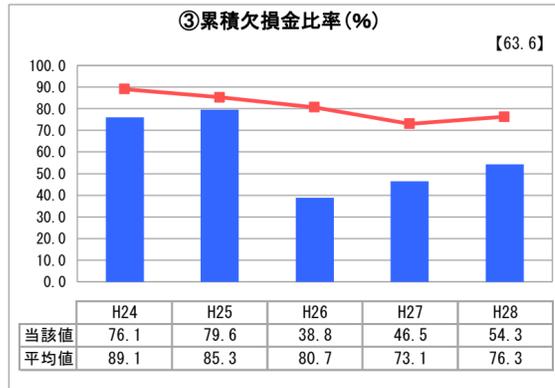
1. 経営の健全性・効率性



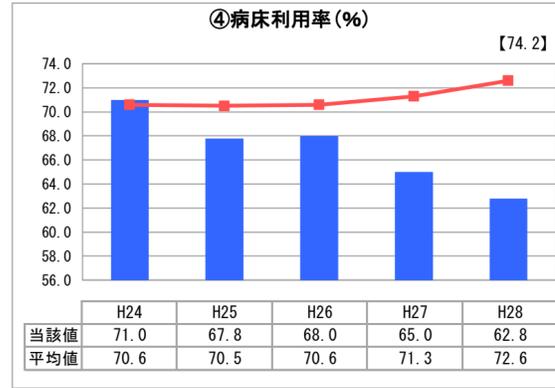
「経常損益」



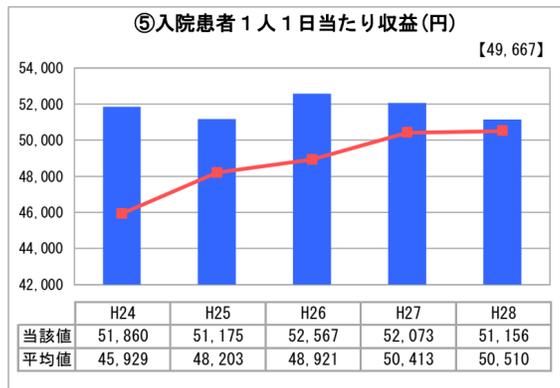
「医業損益」



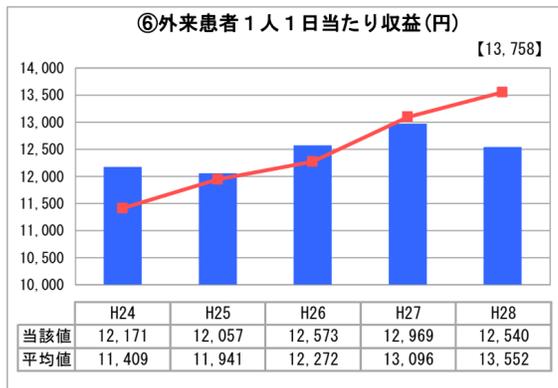
「累積欠損」



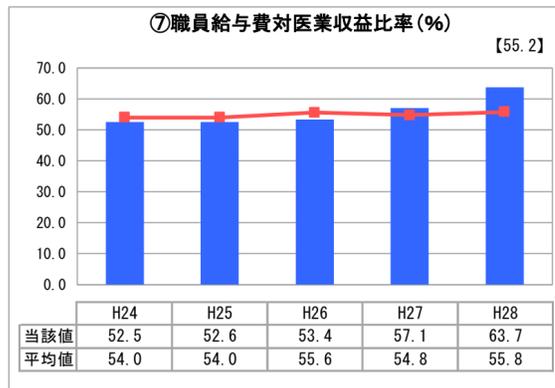
「施設の効率性」



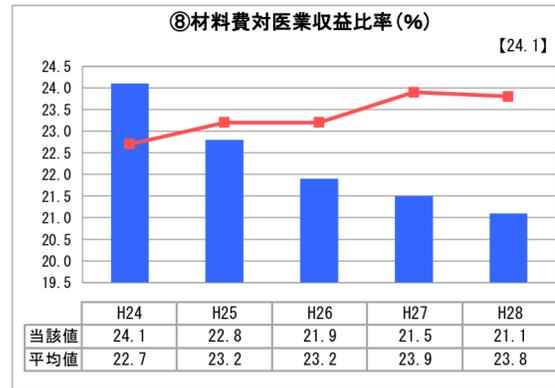
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

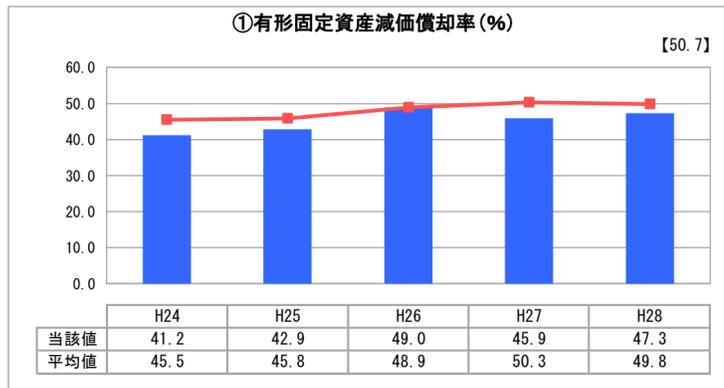


「費用の効率性①」

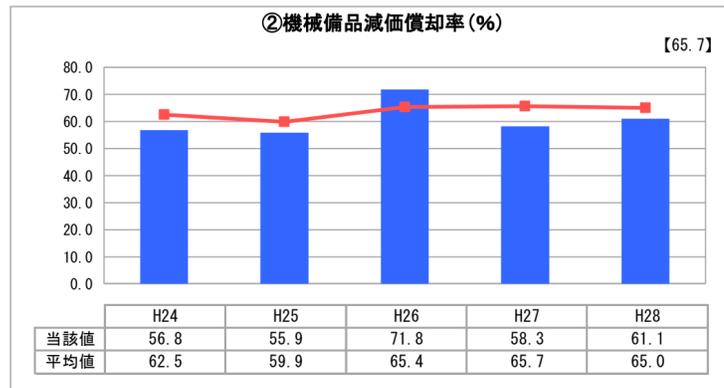


「費用の効率性②」

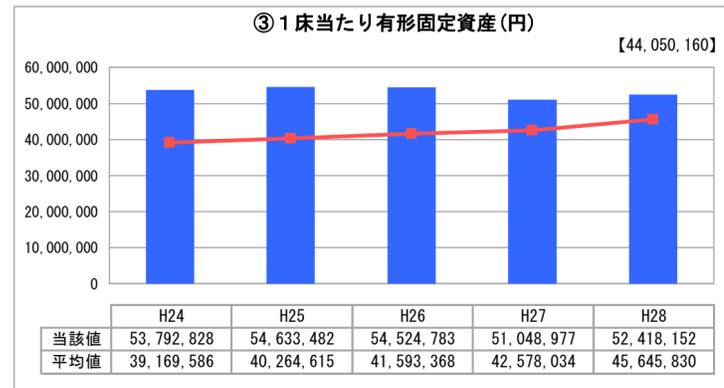
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- ・二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門における医療を提供している。
- ・特に、県中央地域から遠隔であることから、地域完結型医療を目標に、救急をはじめとする高度急性期医療も担っている。
- ・地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

これまで、経常収支比率や診療単価などは類似病院の平均値を上回る状況が続いてきたが、近年は患者数の減少により低下してきており、平成28年度は職員数の増加もあり、職員給与対医業収益比率の上昇とあわせて大きく悪化している。累積欠損金比率についても近年の収支悪化に伴い高くなっているが、類似病院平均値は下回っている状況である。

2. 老朽化の状況について

現病院の開院から約20年が経過している。有形固定資産減価償却率・機械備品減価償却率ともに類似病院平均値を下回っているものの、今後は施設の改修・修繕が必要となる場合も想定される。適切な維持管理を行い、施設の長寿命化に努めるとともに、一定期間経過後は施設更新も視野に入れる必要がある。

全体総括

- ・経常収支比率や診療単価など、類似病院平均値を大きく上回る状況が続いてきたものの、近年は地域の人口の減少も一要因とする患者数の減少、病床利用率の低下が見られるようになった。
- ・適正病床数の検討や病棟再編の検討に着手しており、地域の医療ニーズ等も勘案しながら地域を支える中核病院として良質な医療を安定して提供し続けられるよう経営改善の努力を継続する。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。